

国語科 学習指導案

題材名 文科省 JSL カリキュラムを活かした授業

「じどう車ずかん」をつくろう！

平成△年△月△日（木）3校時

1年A組 男子14名女子15名 計29名（外国につながる児童3名）

授業者：担任 ○○ ○○

1. 単元名 「じどう車ずかん」をつくろう！ 教材文：『じどうしゃくらべ』

2. 単元設定の理由

A組の児童は、六月頃より宿題においても毎日の音読学習を行ってきている。現在では、多くの子どもがすらすらと読めるようになってきている。

しかし、文章の意味までわかって読んでいるのかと問われると、疑問を持たざるを得ない。本単元に入る前に学習してきた『ゆうだち』や『みいつけた』のテストでは、「どこで～」や「どのように～」などの問に対して、流暢に音読ができる子どもにおいても的確な答えが書けない子どもが見られた。特に外国につながる児童においては3名とも同じような結果であった。

これは、音読を習得することが、そのまま文章を読み取る能力の習得につながるものではないことを表している。国語学習入門期である1年生では、より興味を持つであろう内容を用いて学習を深めていくことや、シンプルな構成の文章に具体的な活動を結びつけて国語力を身につけていくことが大切であると考えられる。

本単元は、児童の多くが興味・関心を示すであろう身近な自動車について、「2つの問い—答え—答え—答え」という構成で書かれた列挙型の文章になっており、「どんな仕事をするのか？」そのために「どんなつくりになっているのか？」という2つの問いに対して、2つの段落で答えるという明確な文章構成で書いてあるので内容がとらえやすい。また、大事な言葉や文を書き抜きながら説明されている内容の大体をとらえる力を養うのに適している文章であると言える。

ゆえに、学級全体で学習言語環境を意識的に整え、共通化を図っていくことはとても大切なことであると考えられる。そこで、外国につながる児童の学習指導に有効な「JSLカリキュラム」を取り入れた授業を実践することが効果的なのではないかと考えた。

以上のことから、図鑑（ワークシート）にまとめていく活動を通して、文章を読み取る力を身につけることができ、さらにJSLの授業構想を取り入れた体験と言葉を結びつけながら、学習を進めていくことでさらに意欲を持って学習に参加することが、A組児童にとって大変有意義な学習であると考え、本単元を設定した。

3. 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○自動車の「しごと」と「つくり」の関係に興味をもって読もうとしている。

(2) 話す・聞く能力

○自動車の「しごと」と「つくり」の関係に即して、自分の考えを発表することができる。

(3) 読む能力

○三種類の自動車について仕事とつくりの関係を考えながら内容の大体をとらえることができる。

(4) 書く能力

○読み取った自動車の「しごと」と「つくり」について、自動車カードにまとめることができる。

○教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文が書ける。

(5) 言語についての知識・理解・技能

○片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。

4. 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

・自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。

(2) 話す・聞く能力

・文章から読み取ったことを発表したり、聞いたりしている。

(3) 読む能力

・何と何（「しごと」と「つくり」）が書かれていることを理解している。

・文章の中から必要な部分を書き抜いている。

・調べるために本を選んで読んでいる

(4) 書く能力

・教科書の文型にならい、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。

(5) 言語についての知識・理解・技能

・教科書に提示された片仮名を正しく書いている。

5. 単元の指導計画と評価規準（全12時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準と評価方法
第1次	1	○どんな自動車があるのか話し合う。 ○自動車カード(自動車図鑑)を作る見通しをもつ。	・今まで見たり乗ったりしたことのある自動車や絵本や図鑑などで知っている乗り物について話し合わせる。 ・興味のある乗り物については、図鑑・挿絵や写真を参考に紹介ができるようにする。	◇いろいろな乗り物について情報を得るために、乗り物の仕組みを説明した本や文章を読もうしたり、話し合いに積極的に参加したりできる。 【関】(発言・観察) ◇自動車にはいろいろな種類があることに興味をもち、どのような図鑑を作るかを考えようとしている。 【関】(発言・ワークシート)
第2時	2	○バスや乗用車の「しごと」と「つくり」をまとめる。 ○バスと乗用車の自動車図鑑を作る。	・「どんなしごとをしていますか。」「どんなつくりになっていますか。」の二つの問いの文があることに着目させ	◇じどう車クイズや乗車経験について意欲的に参加したり、発言したりしている。 【関】(発言)

<p>2 次</p>	<p>3 ○トラックの「しごと」と「つくり」をまとめる。 ○トラックの自動車図鑑を作る。</p> <p>4 ○クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめる。 ○クレーン車の自動車図鑑を作る。</p> <p>5 ○はしご車の「しごと」と「つくり」を考えまとめる。 ○本文の文型を活用し、はしご車の自動車図鑑を作る。</p>	<p>る。</p> <p>・「どんなしごとをしていますか。」の問いに対応して答えの文は、「～は、～していません。」となっていることを確認させる。</p> <p>・P25の挿絵や知っていることなどをもとに意見を出させ、教師と一緒に文章を考えていくようにする。</p>	<p>◇じどう車カードにまとめることを通して、いろいろな車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができている。</p> <p>【読】(発言・ワークシート)</p> <p>◇教材文に出てくる片仮名を正しく書いている。</p> <p>【言】(ワークシート)</p> <p>◇文章から読み取ったことを発表したり、聞いたりしている。</p> <p>【話・聞】(発言・観察)</p> <p>◇はしご車の説明文を書くことができる。</p> <p>【書】(ノート)</p>
<p>第 3 次</p>	<p>6 ○絵本や図鑑を読み、書きたい自動車を選ぶ。</p> <p>7 ○書きたい自動車の「しごと」と「つくり」をカードにまとめる。</p> <p>8 ○下書きをする。</p> <p>9 ○下書きを清書し、絵を描く。</p> <p>10</p> <p>11 ○作成したワークシートを綴じ、図鑑を完成させる。</p> <p>12 ○図鑑の鑑賞会を行う。</p>	<p>・できるだけ様々な本や図鑑資料等を持ってこさせたり用意したりしておく。</p> <p>・仕事やつくりを明確に書いていない本図鑑、や資料等あるので、個別に支援していく。</p> <p>・図鑑の名前を自由に考えさせる。</p> <p>・図鑑をみんなで読みあい、感想をカードに書いてプレゼントをするようにする。</p>	<p>◇調べるための本や図鑑、資料を用意している。</p> <p>【関】(本・図鑑・資料)</p> <p>◇本の中から「しごと」と「つくり」にあたる部分を書き抜いている。</p> <p>【読】(ワークシート)</p> <p>◇自分なりの図鑑名を意欲的に考えている【関】(発言・図鑑)</p> <p>◇主語と述語の関係を正しく理解している。</p> <p>【言】(図鑑)</p>

6. J S L (Japanese as a Second Language; 日本語を第2言語とする) とは

JSL は、「JSL カリキュラム」の略で、日常的な会話はある程度できるが、学習活動への参加が難しい外国につながる子ども達に対し、学習活動に日本語で参加するための力(学ぶ力)の育成を目指し、文部科学省で開発されたものである。つまり、「日本語で学ぶ力」を育成するための「教科学習用の支援ツール」である。

11. 表現 授業最後に、自分たちのがんばっている姿を想像して言葉で表す。

12. 本時の目標

国語科…音読はできるが読解の苦手な子どもたちが、じどう車クイズやバスの乗車経験を伝えたり、じどう車カードにまとめたりすることを通してバスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」について読み取り発表することができる。(学級全体)

日本語…AUを用いた発問を通して、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」について読み取り発表することができる。(P児)

13. 授業展開

過程	時分	活動	AU・表現	教師の支援・意図
導入	5	・前時を振り返りながら、じどう車クイズに答える。	A-1 知識を確認する① T：これは、なんでしょうか。 S：〇〇車です。／わかりません。	・いろいろな車があることに気づかせたり、自動車についてさらに興味を高めたりするために、ウォークマンの機能を活用し画像や動画を大型テレビジョンでクイズ形式に出す。
	5	・バスの乗車経験について答える。	A-4 経験を確認する① T：バスやじょうよう車に乗ったことがありますか。 S：はいあります。／いいえ、バスは乗ったことがないです。 T：バスやじょうよう車のひみつが教科書に書いてあります。じどう車カードにそのひみつをまとめていきましょう。	・児童の興味を高めるために、ミニカーなどの自動車モデルも用意しておく。 ・興味をふくらませながら教科書に入っていけるようにするために、バスの乗車経験を確認したり、地元のバスの写真を紹介したりする。 ◇じどう車クイズや乗車経験について意欲的に参加したり、発言したりしている。 【関】(発言)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">バスやじょうよう車のひみつをまとめよう。</div>				
展開	10	・じどうしゃくらべ(じどう車カード①)の本文を読み、二つの問いの文があることを読み取る。	E-10 情報や傾向を読み取る② 「情報を読み取る-2」 T：どんな問いが書いてありますか。	・二つの問いがあることに気づけるよう叙述を基に考えるよう伝える。 ・問いをハッキリさせるた

10	<p>・バスやじょうようしゃの「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <p>〈しごと〉</p> <p>・人をのせてはこぶしごと。</p> <p>〈つくり〉</p> <p>・ぎせきのところが、ひろくつくってある。</p> <p>・そとのけしきがよく見えるように、大きなまどがたくさんある。</p>	<p>S : 「どんなしごとをしていますか。」 「どんなつくりになっていますか。」 と書いてあります。</p> <p>E-7 情報の取捨選択をする③</p> <p>「必要な情報を探す-1」</p> <p>T : バスやじょうよう車のしごとは何と書かれていますか。</p> <p>S : 「人をのせてはこぶしごとをしています。」 と書かれています。</p> <p>T : バスやじょうよう車のつくりは何と書かれていますか。</p> <p>T : 「ぎせきのところが、ひろくつくってあります。」 と書かれています。 / 「そとのけしきがよく見えるように、大きなまどがたくさんあります。」 と書かれています。</p>	<p>めに、本文へ赤線をひかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">と い</div> <ul style="list-style-type: none"> ・バスやじょうよう車のしごとについて児童がはっきりわかるように、ワークシート（じどう車カード）に青線をひかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">しごと</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」の文の後には、「そのために」という言葉があることに気づかせ、「しごと」と「つくり」が関連していることをつたえる。 ・つくりをハッキリさせるために、本文へ黒線をひかせる。 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">つくり</div> <p>◇じどう車カードにまとめることを通して、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができたか。</p> <p>【読】(発言・ワークシート)</p>
終末	10	<p>K-5 わかったことを表現する①</p> <p>「わかったことを表現する」</p> <p>T : 今日の学習で、バスやじょうよう車のどんなことがわかりましたか。グループで話し合ってください。</p> <p>T : バスやじょうよう車のわかったことについて発表してください。</p> <p>S : バスやじょうよう車の「しごと」は、人をのせてはこぶことがわかりました。「つくり」は、ぎせきのところが、ひろくつくってある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめてきたじどう車カードを基に、発表するよう伝える。 ・グループでの話し合いが深まるようにAUカード（お助けカード）を渡す。 ・AUカード「バスやじょうよう車の～は、～ということがわかりました。」を用い発表する。 ・AUカードの有効性を確かめるために、実証の対象児童となっているP・I児を意図的指名も行うよ

発信	5	・次時の学習を知る。	<p>ことと、そとのけしきがよく見えるように、大きなまどがたくさんあることがわかりました。</p> <p>T：今日は、バスやじょうよう車についてじどう車カードにまとめることができましたね。次は、トラックについてまとめていきましょう。</p>	<p>うにする。</p> <p>◇AU表現を参考に、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」の発表ができたか。</p> <p>【話・聞】(発言・観察)</p> <p>・これからも意欲的に学習に参加できるようにするために、本時の良さを伝え、次時の予告をする。</p>
----	---	------------	--	---

(実証の観点)

1. じどう車クイズやバスの乗車経験を発表したり、じどう車カードにまとめたりすることが、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み取ることに有効であったかどうか。
2. AUカードを用いたことは、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」の発表に有効であったかどうか。

(評価)

1. 国語科として
 - ・じどう車カードにまとめることを通して、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」について読み取っている。【B評価：机間観察・ワークシート】
 - ・話し合い場面では、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」についてワークシートを基に述べている。【A評価：机間観察・発表】
2. 日本語として
 - ・目標達成のための方法「～は、～ということがわかりました。」を使って表現している。【発表】

*** 教材研究 ***

【資料 AU】

AU は「Activity Unit」(活動の単位)の略で、教室(特に在籍学級)での様々な「活動→学び」を促す場面において、多用される教師の発問・指示語を体系化したものである。

* 文科省HP『学校教育におけるJSLカリキュラムの開発について』(最終報告)小学校編

【本時に関わる AU 一覧 (全体)】

共通のAU	本授業での表現例
<p>A-1 知識を確認する②</p> <p>T：～は何だと思いますか。</p> <p>S：～だと思います。</p>	<p>T：これは、なんでしょう。</p> <p>S：〇〇車です。／わかりません。</p>
<p>A-4 経験を確認する①</p> <p>T：～をしたことがありますか。</p> <p>S：はい、しました。／いいえ、したことがあ</p>	<p>T：バスやじょうよう車に乗ったことがありますか。</p>

りません。	S : はいあります。 / いいえ、バスは乗ったことがないです。
E-10 情報や傾向を読み取る② 「情報を読み取る-2」 T : ここには、どんなことが書いてありますか。 S : ~ということが書いてあります。	T : P 2 2 には、どんな問いが書いてありますか。 S : 「どんなしごとをしていますか。」「どんなつくりになっていますか。」と書いてあります。
E-7 情報の取捨選択をする③ 「必要な情報を探す-1」 T : どこを見ればいいですか。 S : ~を見ればいいです。	T : バスやじょうよう車のしごとはどこに何と書かれていますか。 S : P 2 3 の 1 行目から「人をのせてはこぶしごとをしています。」と書かれています。
K-5 わかったことを表現する① 「わかったことを表現する」 T : どんなことがわかったか発表してください。 S : ~ということがわかりました。	T : 今日の学習で、バスやじょうよう車のどんなことがわかりましたか。 T : バスやじょうよう車のわかったことについて発表して下さい。 S : バスやじょうよう車の「しごと」は、人をのせてはこぶことがわかりました。

(教科書本文中に現れる AU)

H-5 AU : 条件的に考える⑤ 「(達成のための)方法を考える-2」 よくつかうことば → ためには、~ どうする。 / ~すれば ~ます。~です。		
基本形	○~ (の) ためには、 どんなほうほう / やりかた が いいでしょうか。	○~のためには、 ~すれば いいとおもいます。
バリエーション	○~したいです。そのために、どんなほうほうがいいですか。 ○~します。どうしますか。	○~すればいいです。 ○~します。
本文中	○~していますか。 ○~しています。	○そのために~なっていますか。 ○そのために~あります。